

「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」  
 ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 学校教育目標 ○「美しさを感じる子(徳)」 Growth ○「よく学ぶ子(知)」 Global  
 ○「元気に運動する子(体)」 Grit ○「がんばりぬく子」 Grit
- ・基礎的・基本的な学力、生きて働く学力を身に付けている子を育てる。
  - ・互いに伝え合い、学び合い、伸び合う子を育てる。
  - ・論理的に考え、表現できる子を育てる。
  - ・粘り強く努力を続ける子を育てる。

学力向上目標①

4月

○さいたま市学習状況調査の「算数の勉強は好きですか」「算数の授業の内容はよくわかりますか」の質問に対して、肯定的な回答の数値を、前年度より3ポイント以上向上させた値にする。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

- ・学習内容の定着を図るため、ワークシートを活用した朝学習を継続的に実施する。
- ・チーム・ティーチングやICTの効果的な活用を推進するなどし、算数の授業実践の充実を図る。

開始期日

6月

具体的な手立て

- ・課題克服応援シート、基礎学力定着プログラム等を活用した朝学習を日課表に位置付け、全学年で実施する。
- ・全学年の算数の授業を、週2回チーム・ティーチングで行う。(6月中旬～)
- ・令和元年度さいたま市学習状況調査の分析を学年・ブロックで行い、児童の実態や課題を共有する。(7月)
- ・低学年・高学年の各ブロックで算数の授業研究会を実施する。(10月、1月)
- ・全学級、1回以上のICTを活用した算数の授業実践を公開する。(2学期中)

本年度の振り返り

2月

○令和2年度さいたま市学習状況調査の「算数の勉強は好きですか」の質問に対する肯定的な回答は、特に高学年において昨年度より8.5ポイント以上向上した。全ての学級でICTを活用した授業実践に取り組むなど、算数科の授業改善に取り組んだ成果の一つととらえることができる。  
 ▲一方で、「算数の授業の内容はよくわかりますか」の質問に対する肯定的な回答は、4学年中2学年で市平均を上回ったものの、昨年度より肯定的な回答の数値が向上したのは1学年のみである。

達成度

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

3月

- ・「自ら学び、考え、表現する児童の育成」を研究主題として、全学年で算数科の授業改善に引き続き取り組み、さいたま市学習状況調査の「算数の授業の内容はよくわかりますか」の質問に対する肯定的な回答が、3学年以上の全ての学年で市平均値を上回るようにする。
- ・さいたま市学習状況調査における算数の無解答率が全学年で市平均値を下回るようにする。